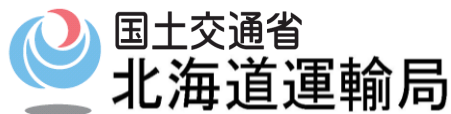


北海道の観光基礎データ

令和8年5月29日



○本資料に係るお問い合わせ先
北海道運輸局 観光部 国際観光課
TEL : 011-290-2723
MAIL : hkt-kokusai_kankou@gxb.mlit.go.jp

目次

訪日外国人旅行者数（国）

- P2 訪日外国人旅行者数の推移（全国・2003年～2026年）
- P3 2026年2月の市場別外客数（全国・2025年同月比）
- P4 2026年1～2月の市場別外客数（全国・2025年同期比）
- P5 訪日外国人旅行者数及び割合(2025年、国・地域別)

訪日外国人旅行者数（北海道）

- P6 北海道におけるインバウンド最新トレンド
- P7 北海道観光入込客数（実人数）の推移（2009年度～2024年度）
- P8 訪日外国人来道者数（実人数）の推移（2009年度～2024年度）
- P9 訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2024年度・実人数）
- P10 圏域別訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2024年度・延べ宿泊者数）

旅行消費額（国）

- P11 インバウンド消費動向調査（2025年1-3月期）
- P12 1泊当たりの費目別旅行消費額（アジア・2025年 最新四半期）
- P13 1泊当たりの費目別旅行消費額（欧米豪・2025年 最新四半期）
- P14 インバウンド消費動向調査（2025年 年間速報値）
- P15 訪日旅行における1人当たり旅行支出の推移

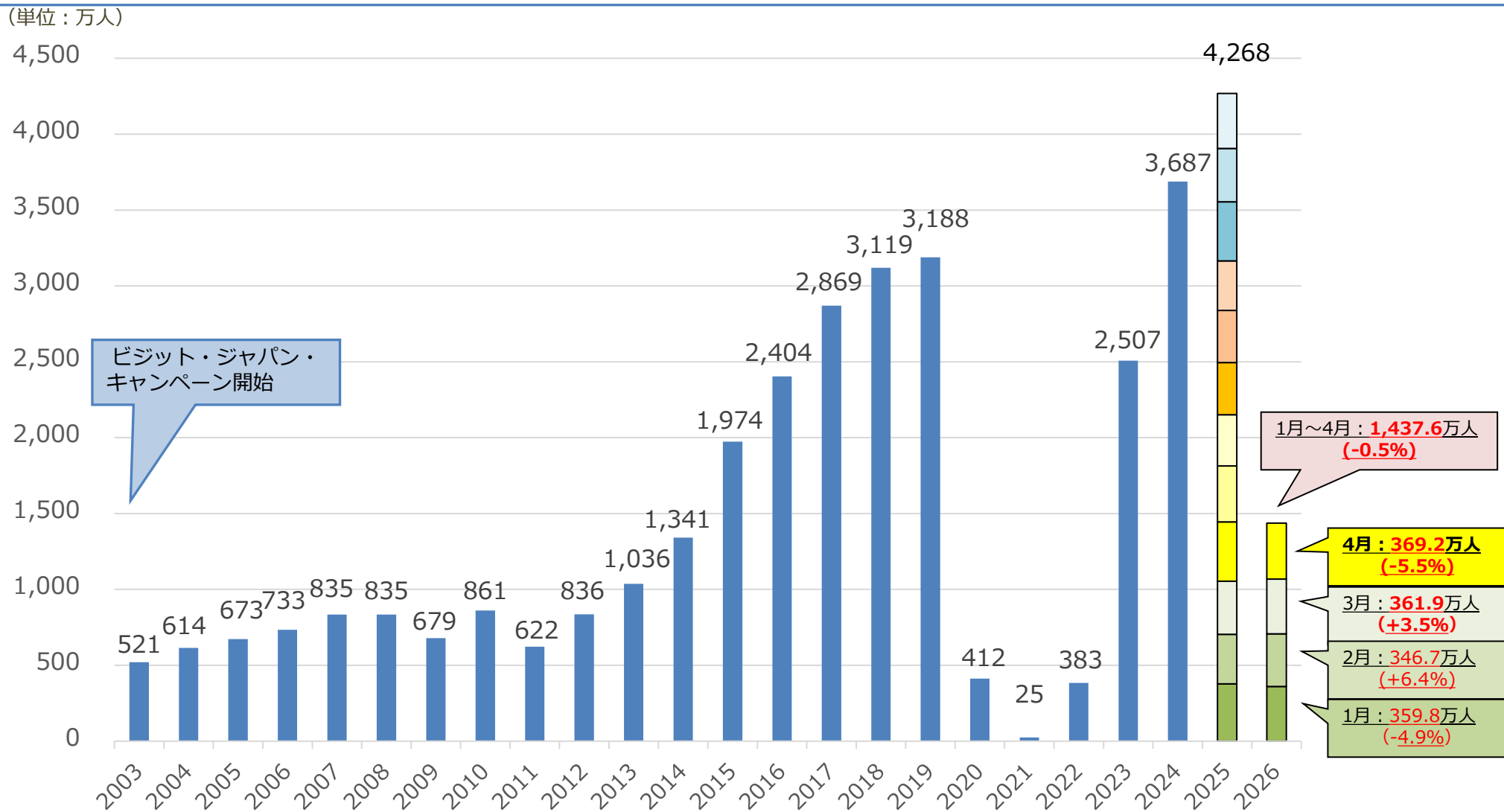
交通関係（航空）

- P16 北海道と世界を結ぶ航空路線
- P17 北海道における国際航空便数の推移
- P18 北海道における東アジア市場の国際航空便数の推移

その他 参考資料

- P19 北海道観光の構造的課題（1） 地域偏在（日本人）
- P20 北海道観光の構造的課題（1） 地域偏在（外国人）
- P21 北海道観光の構造的課題（2） 繁閑差

訪日外客数の推移（全国・2003年～2026年）

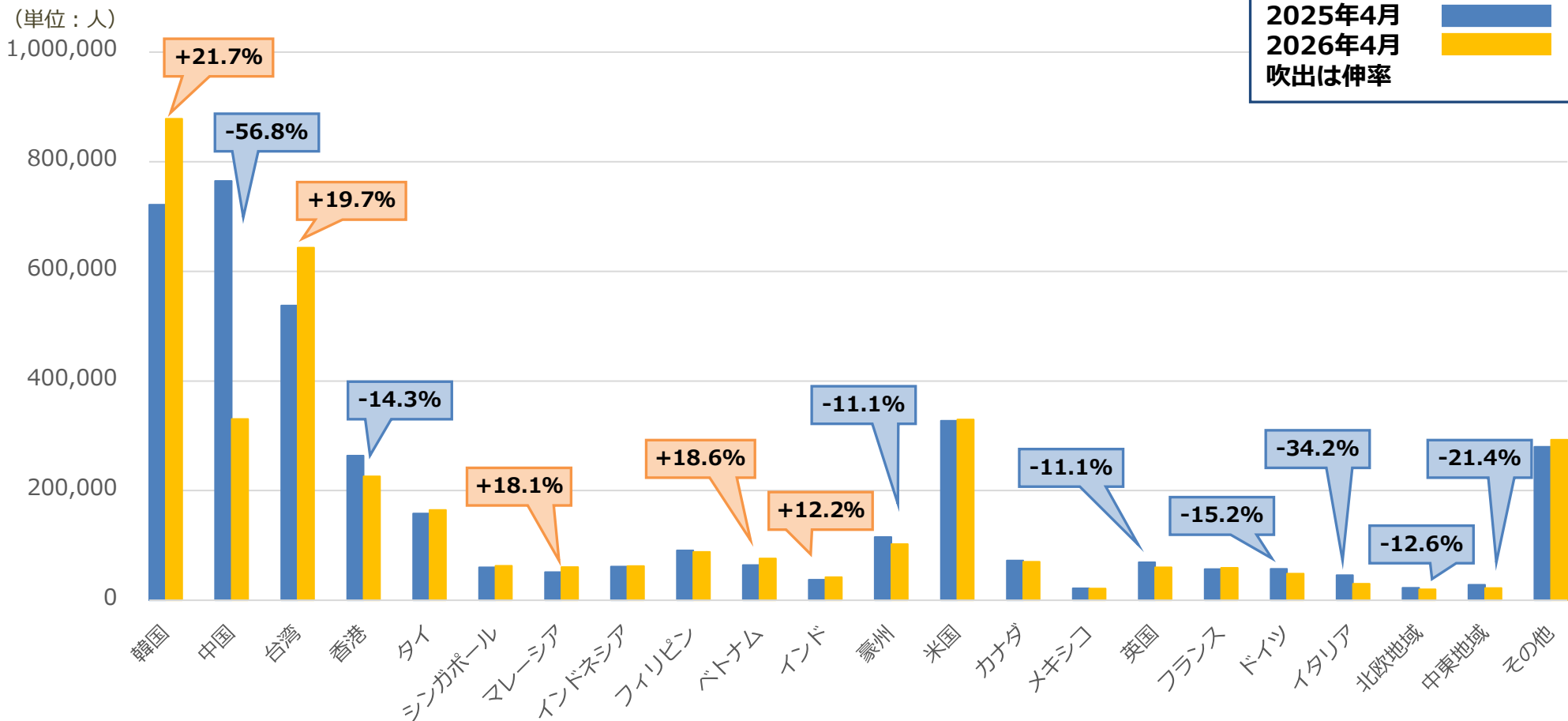


※ () 内%は対2025年同月比。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

※2024年以前の値は確定値、2025年、2026年1月～2月の値は暫定値。2026年3月～4月の値は推計値。

2026年4月の市場別外客数（全国・2025年同月比）



出典：日本政府観光局（JNTO）

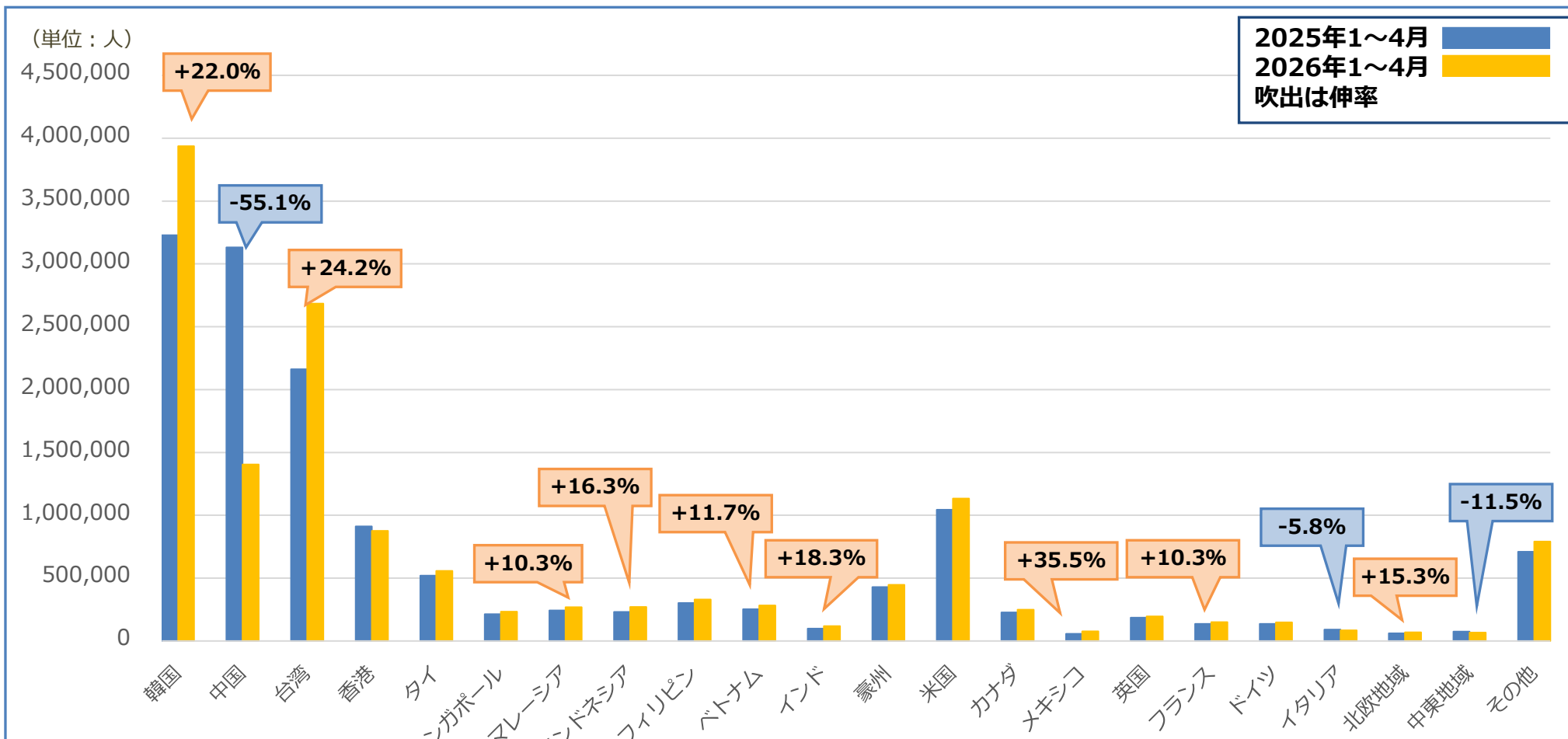
※ 2025年の値は暫定値、2026年の値は推計値。

2026年4月 (単位：人)

※ 「中東地域」はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。
 ※ 「その他」はスペイン、ロシアを含む。※ 「北欧地域」はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

韓国	878,600	タイ	164,800	フィリピン	88,400	米国	330,000	フランス	59,200	北欧地域	19,900
中国	330,700	シンガポール	62,900	ベトナム	76,000	カナダ	70,300	ドイツ	48,500	中東地域	22,300
台湾	643,500	マレーシア	60,400	インド	41,900	メキシコ	21,200	イタリア	30,000	その他	293,000
香港	226,000	インドネシア	62,200	豪州	102,500	英国	59,900				

2026年1～4月の市場別外客数（全国・2025年同期比）

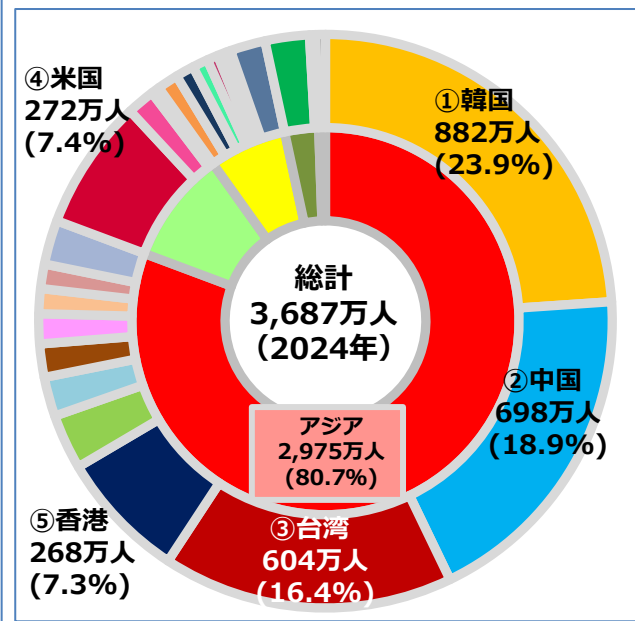
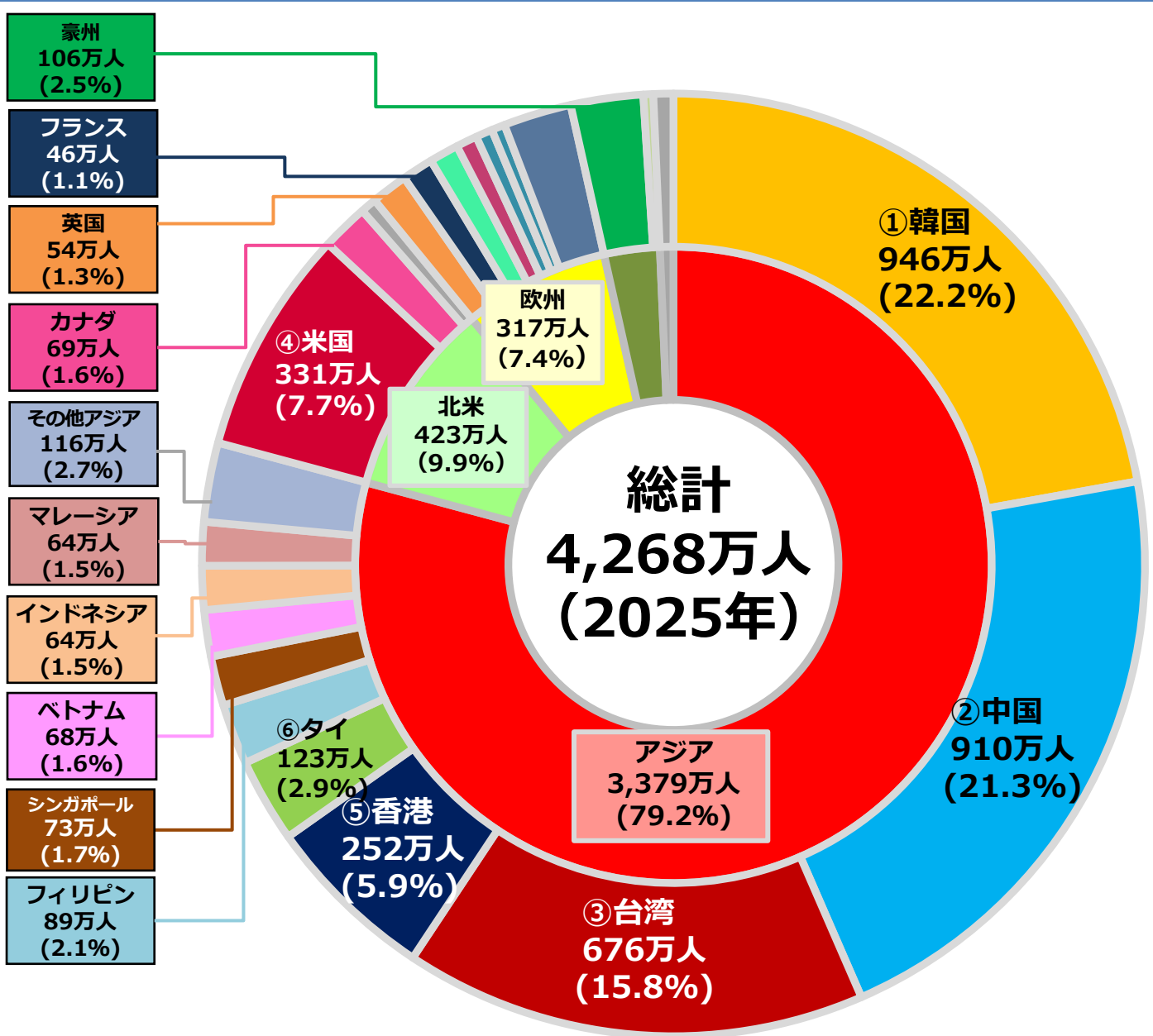


出典：日本政府観光局（JNTO） ※ 2025年の値は暫定値、2026年1月～2026年2月の値は推計値。

2026年1月～4月 (単位：人) ※ 「中東地域」はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。 ※ 「その他」はスペイン、ロシアを含む。 ※ 「北欧地域」はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

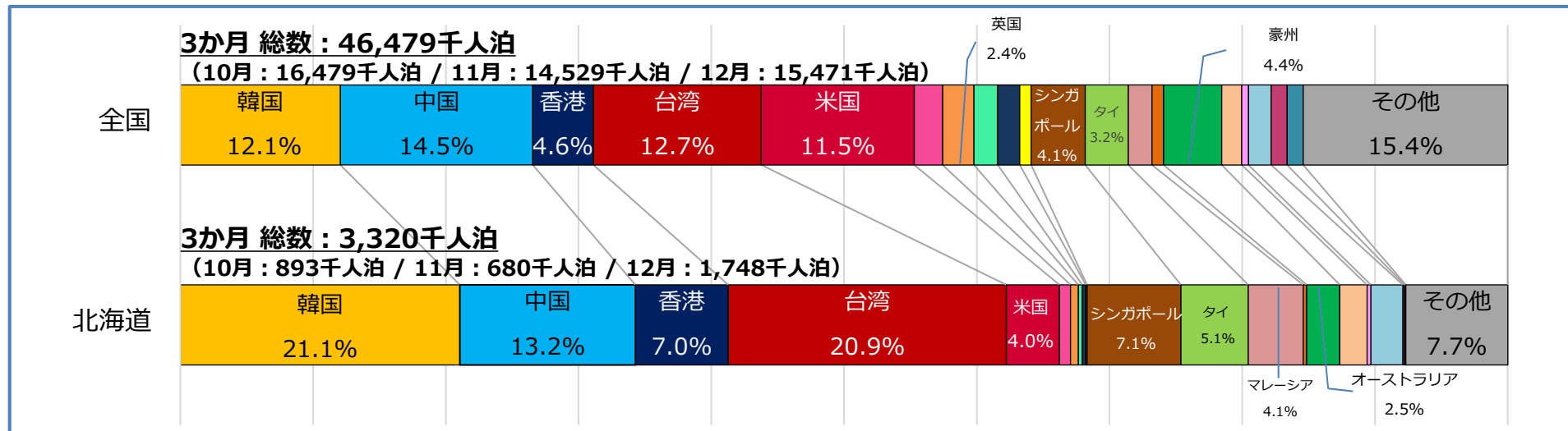
韓国	3,936,700	タイ	557,800	フィリピン	329,400	米国	1,133,400	フランス	150,700	北欧地域	69,800
中国	1,404,300	シンガポール	233,700	ベトナム	282,000	カナダ	249,500	ドイツ	147,300	中東地域	66,500
台湾	2,685,000	マレーシア	269,200	インド	117,700	メキシコ	76,600	イタリア	85,700	その他	791,600
香港	876,300	インドネシア	270,200	豪州	447,100	英国	195,300				

訪日外国人旅行者数及び割合（2025年、国・地域別）

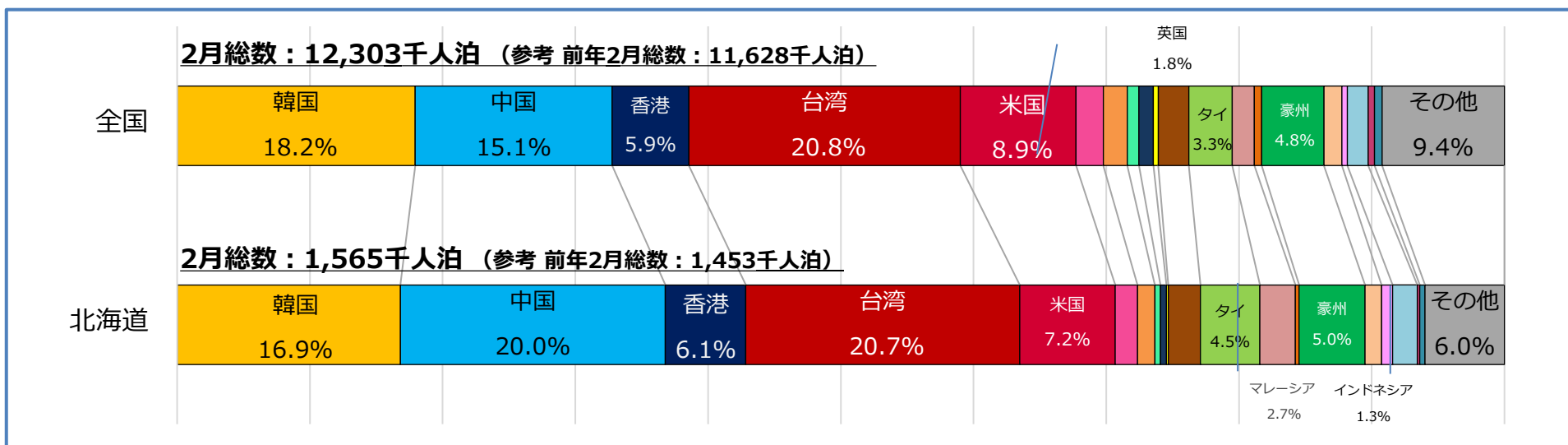


※ () 内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア。
 ※ 2024年の値は確定値、2025年の値は暫定値。
 ※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。
 ※ 日本政府観光局 (JNTO) 資料より作成。

北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合（2025年10-12月期）

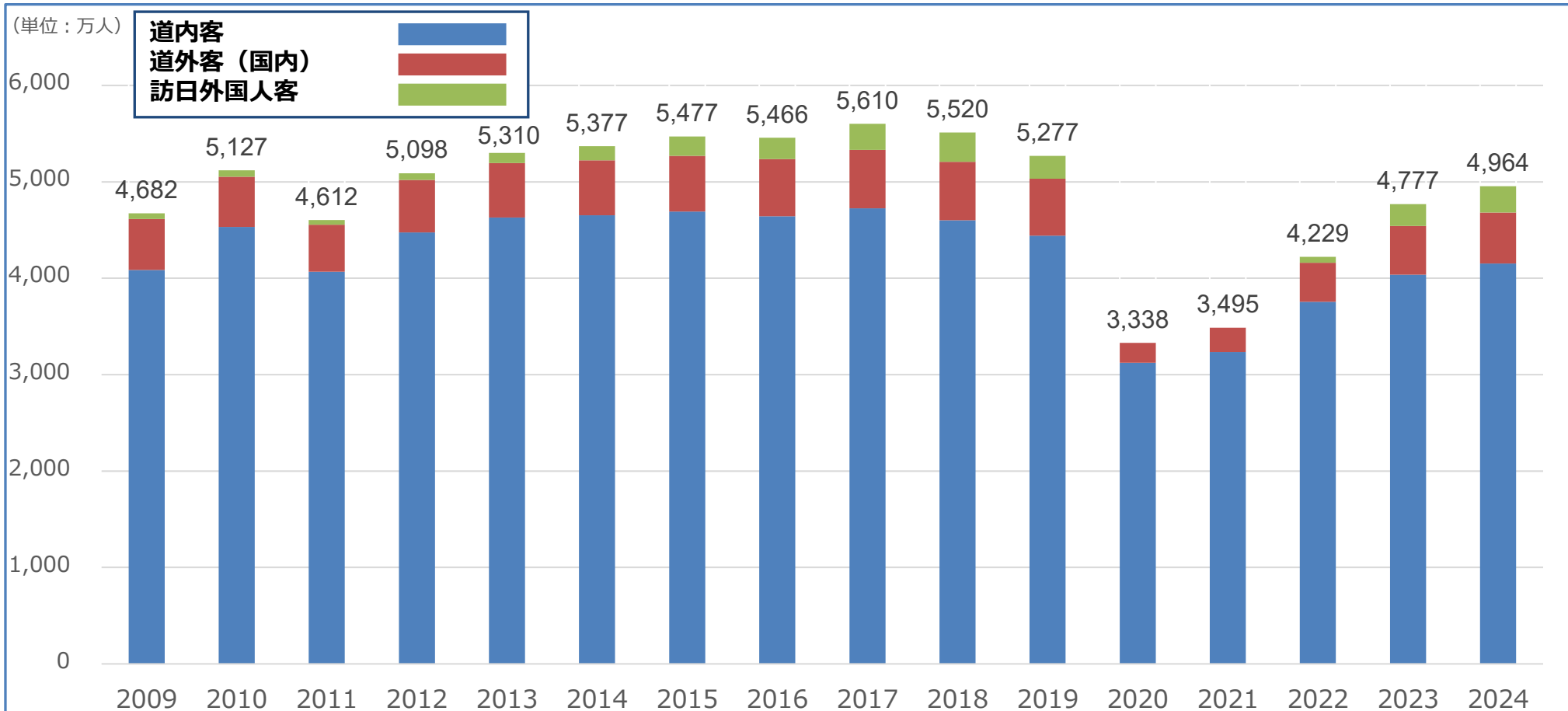


北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合（2026年2月）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」※第2次速報値（推計値）使用。
 ※グラフは従業者数10人以上の施設に対する調査データから作成。延べ宿泊者数の総数は全体データから引用。

北海道観光入込客数（実人数）の推移（2009年度～2024年度）



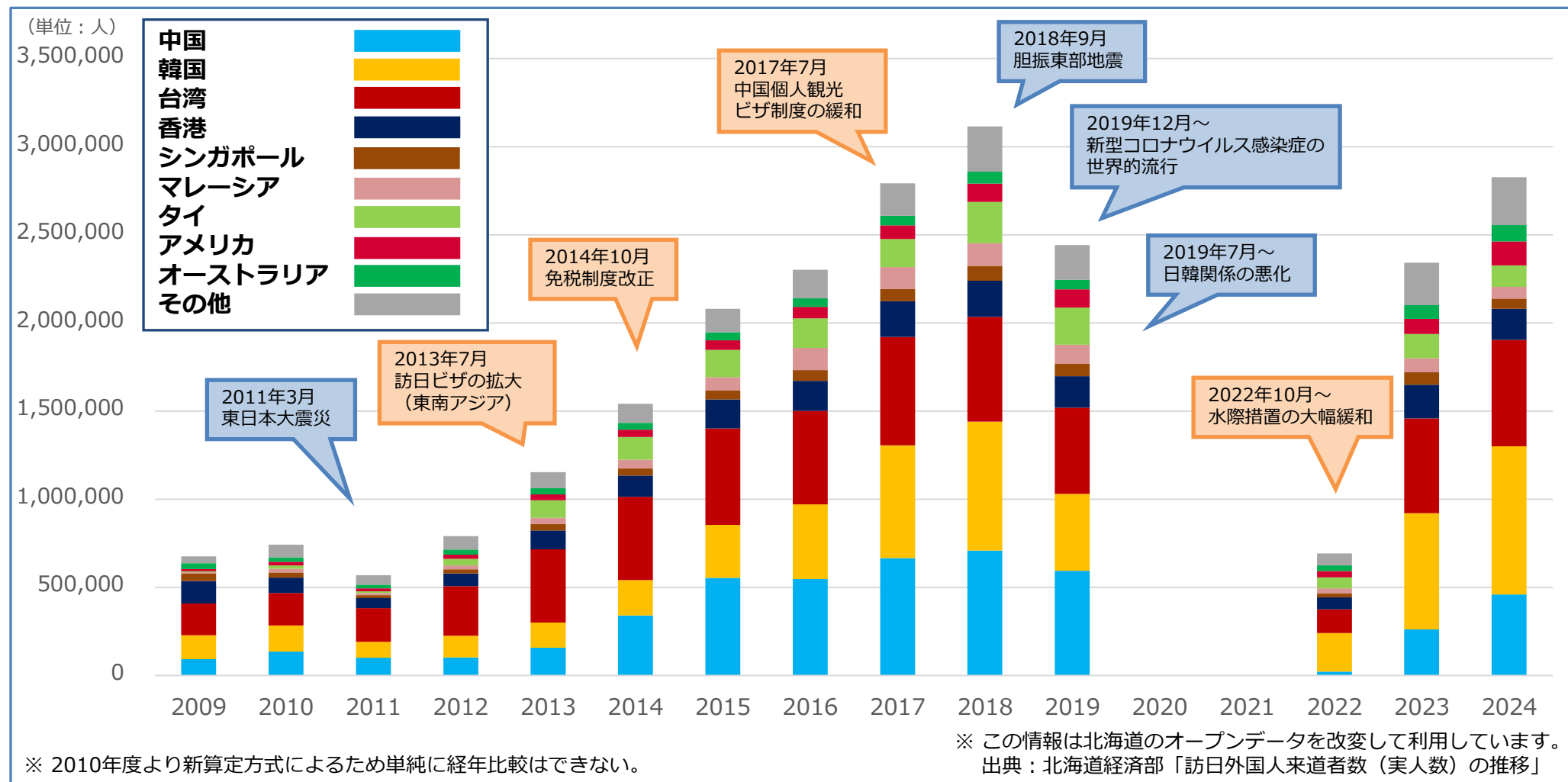
※ 2010年度より新算定方式によるため単純に経年比較はできない。

※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています。
出典：北海道経済部「北海道観光入込客数（実人数）の推移」

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
道内客	4,085	4,532	4,068	4,475	4,629	4,654	4,693	4,642	4,725	4,601	4,441	3,123	3,234	3,756	4,038	4,154
道外客（国内）	529	521	487	544	565	569	577	594	606	607	592	215	261	404	505	527
訪日外国人客	68	74	57	79	115	154	208	230	279	312	244	-	-	69	234	283
合計	4,682	5,127	4,612	5,098	5,310	5,377	5,477	5,466	5,610	5,520	5,277	3,338	3,495	4,229	4,777	4,964

(単位：万人)

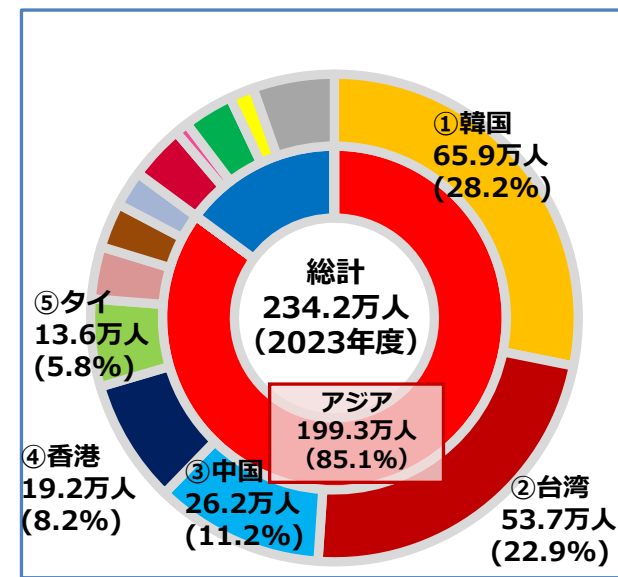
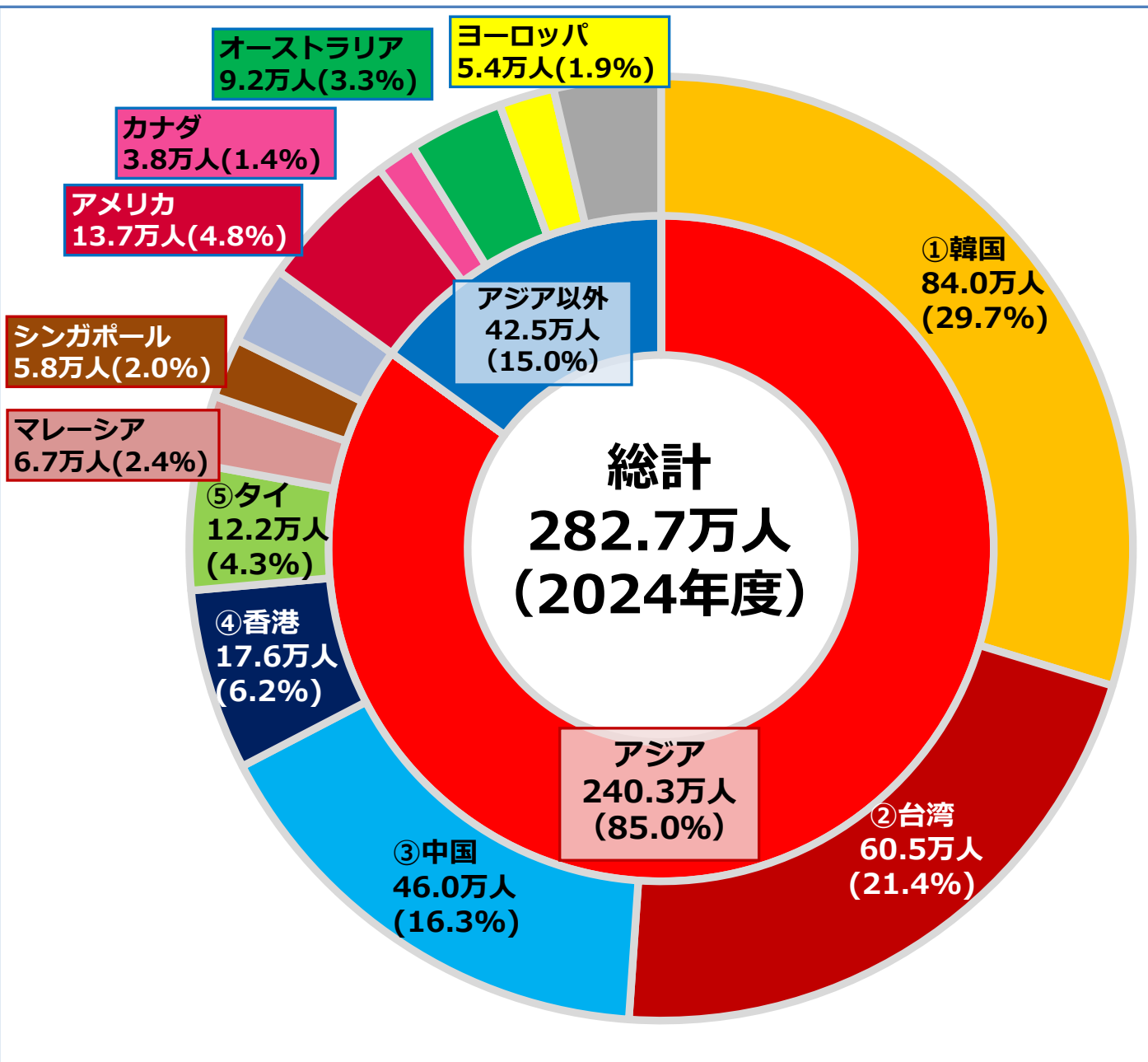
訪日外国人来道者数（実人数）の推移（2009年度～2024年度）



※ 2010年度より新算定方式によるため単純に経年比較はできない。

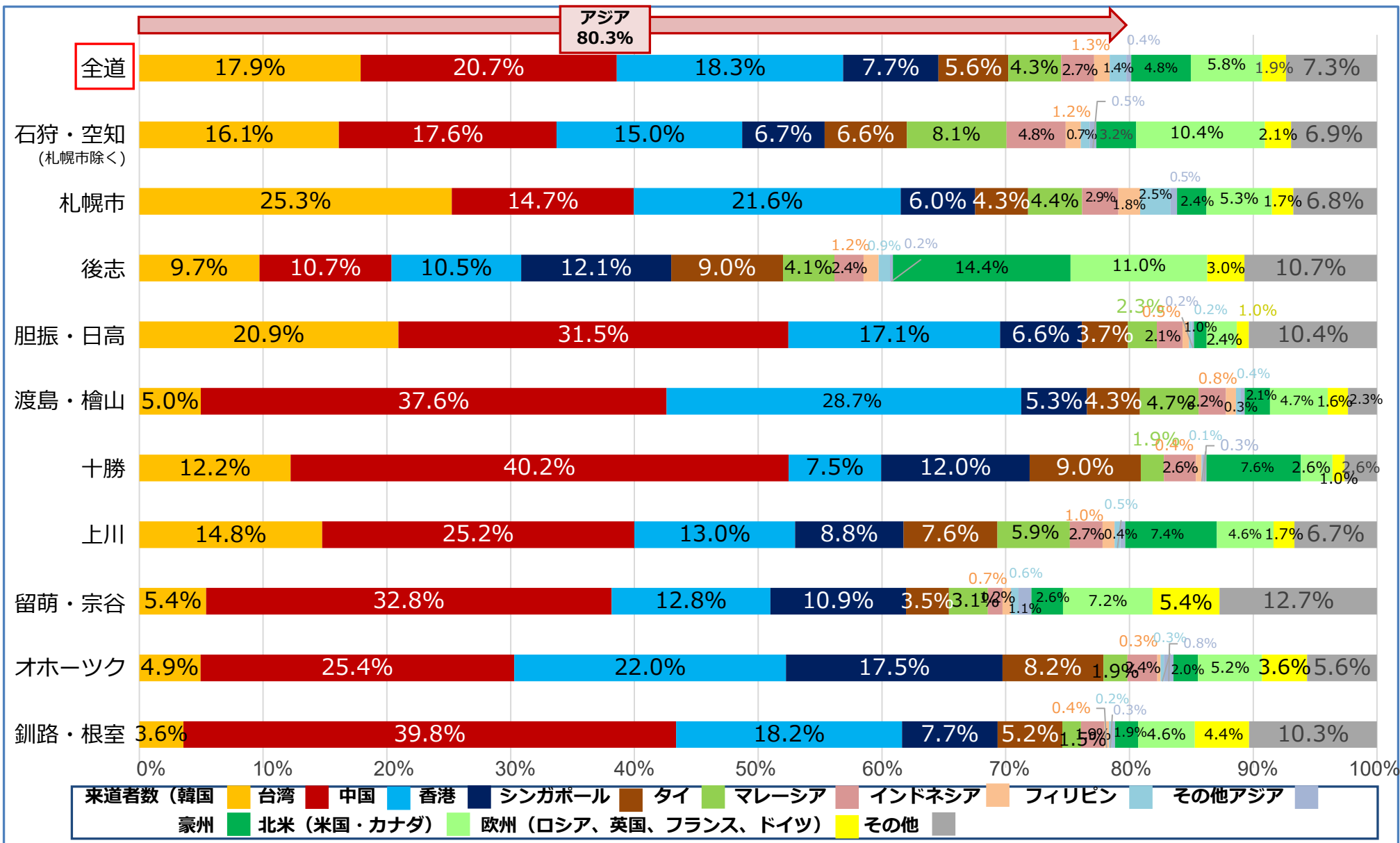
(単位：千人)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
合計	675	741	569	790	1,153	1,541	2,080	2,301	2,792	3,115	2,442	-	-	692	2,341	2,827
うち アジア	602 (89.2%)	624 (84.1%)	478 (84.0%)	661 (83.7%)	993 (86.2%)	1,352 (87.8%)	1,848 (88.8%)	2,026 (88.1%)	2,476 (88.7%)	2,687 (86.3%)	2,136 (87.5%)	-	-	575 (83.2%)	1,992 (85.1%)	2,402 (85.0%)



※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています。
 出典：北海道経済部
 「訪日外国人来道者数（実人数）の推移」
 ※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

圏域別訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2024年度 延べ宿泊者数）



コロナ禍以前と比較して各圏域の欧米豪市場のシェアは増えているものの、依然としてアジア市場に集中傾向がある。

※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています

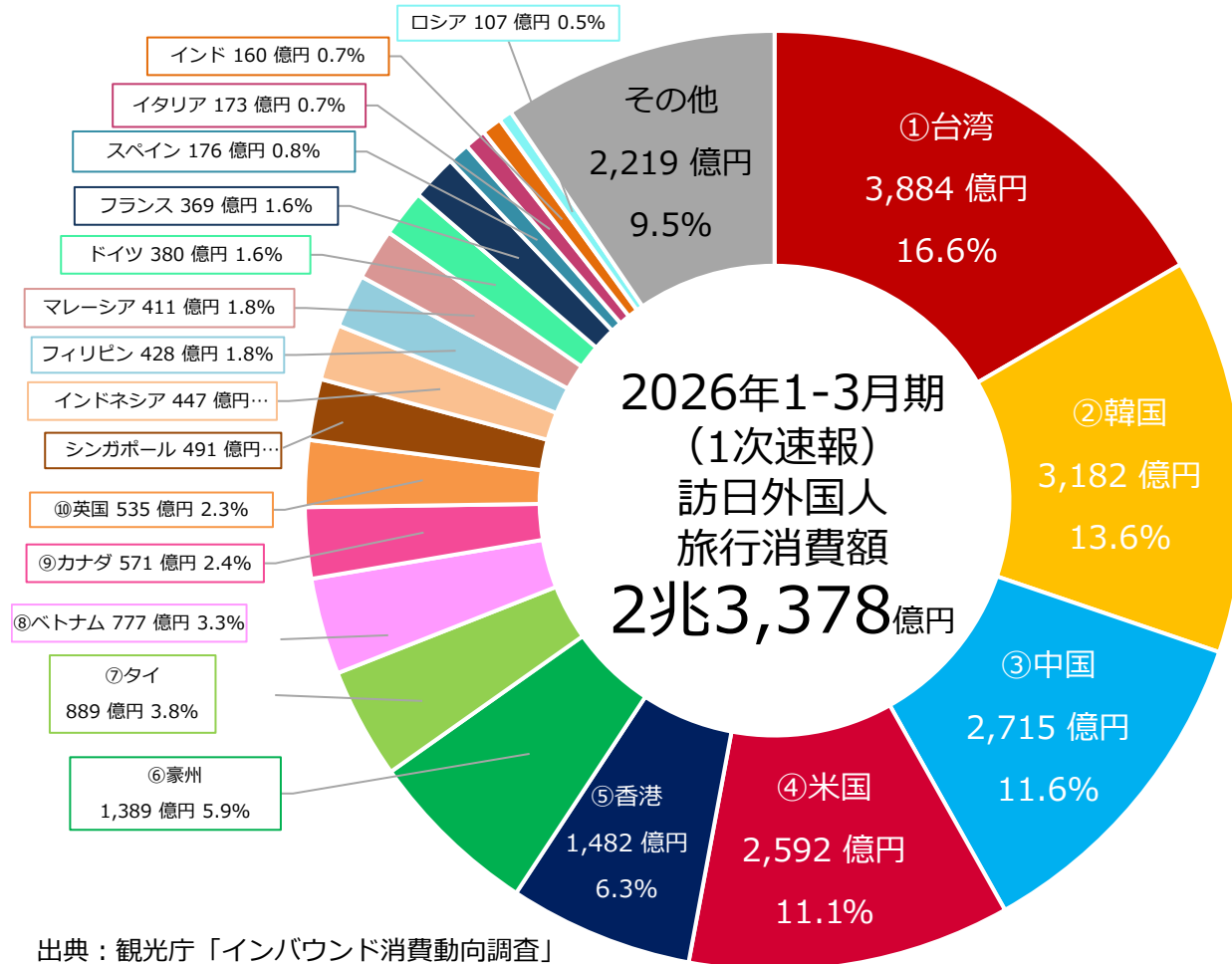
出典：北海道経済部「北海道観光入込客数調査」

※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある

- 訪日外国人旅行消費額は**2兆3,378億円**。2025年同期 (2兆2,803億円) に比べ**2.5%増加**。
- 2026年1-3月期の訪日外国人1人当たりの旅行支出は**約22.1万円**と推計される。2025年同期 (約22.3万円) に比べ**0.6%減少**。

国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比

※データは「全目的」の実績を使用。



参考：2026年1月～3月 市場別外客数

1	台湾	2,041,500人
2	韓国	3,058,100人
3	中国	1,073,500人
4	米国	803,400人
5	香港	650,200人
6	豪州	344,700人
7	タイ	393,000人
8	ベトナム	205,500人
9	カナダ	179,200人
10	英国	135,300人

出典：日本政府観光局 (JNTO)

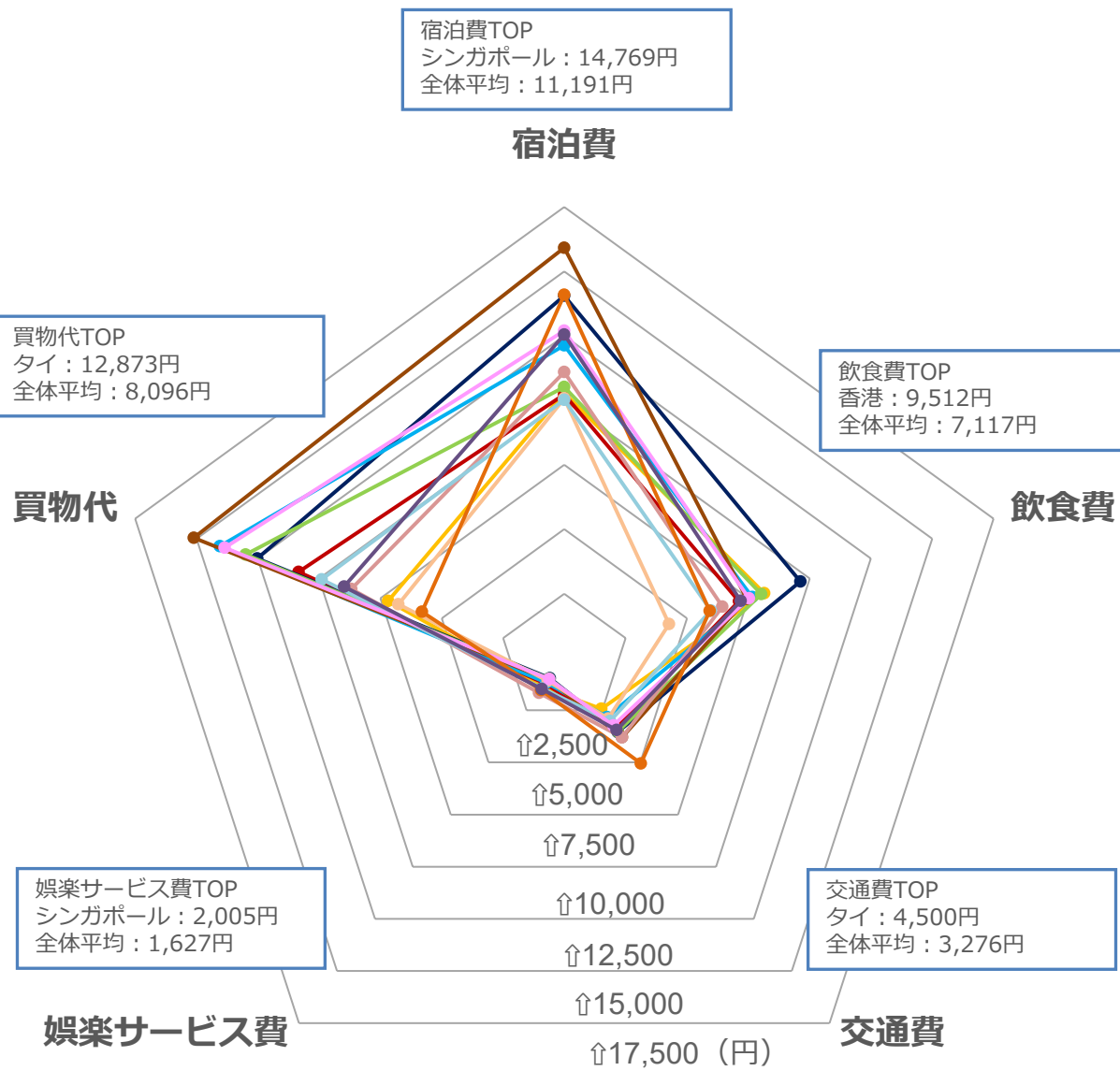
※ 2026年1月～3月の値は推計値。

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※ 数値はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

※ その他はメキシコ、北欧、中東を含む

1泊当たりの費目別旅行消費額 (アジア 2026年1-3月期)



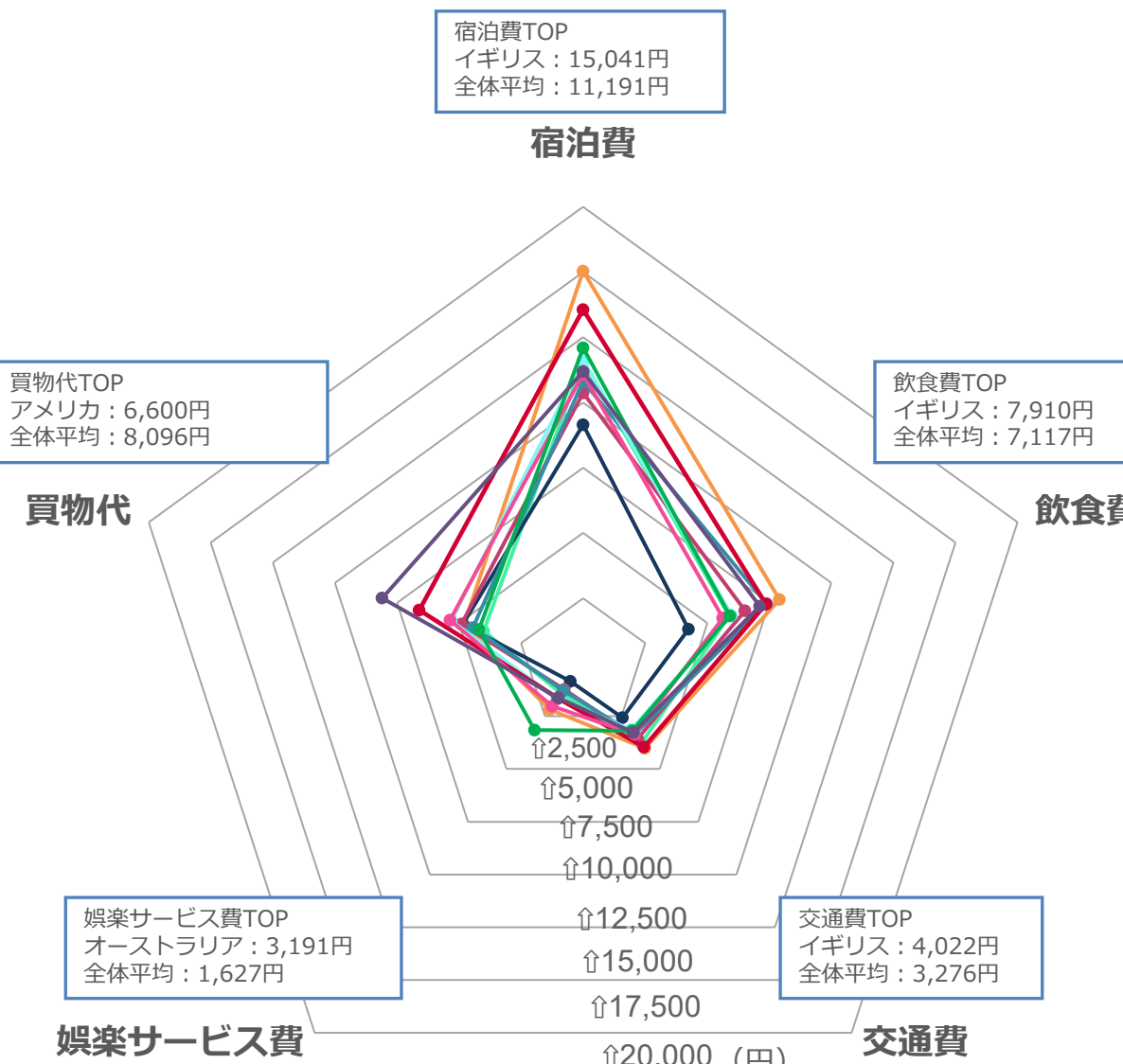
国籍・地域別 1泊あたり総消費額TOP5及び平均泊数		
タイ	39,056円	5.7泊
シンガポール	38,615円	7.8泊
香港	37,986円	6.0泊
中国	34,602円	6.4泊
ベトナム	34,103円	5.7泊
全体平均	31,321円	6.8泊

日本滞在中の総消費額TOP5	
シンガポール	299,395円
インド	261,065円
香港	229,575円
タイ	224,435円
中国	221,447円
全体平均	212,682円

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※ 「全体平均」は欧米豪市場含む全対象市場の平均
 ※ データは「一般客（観光・レジャー目的）」の実績を使用

1泊当たりの費目別旅行消費額（欧米豪 2026年1-3月期）



国籍・地域	1泊あたり総消費額 (円)	平均泊数
英国	33,954円	12.9泊
米国	33,218円	10.5泊
豪州	28,553円	14.4泊
ロシア	27,745円	10.3泊
カナダ	27,619円	11.1泊
全体平均	31,321円	7.0泊

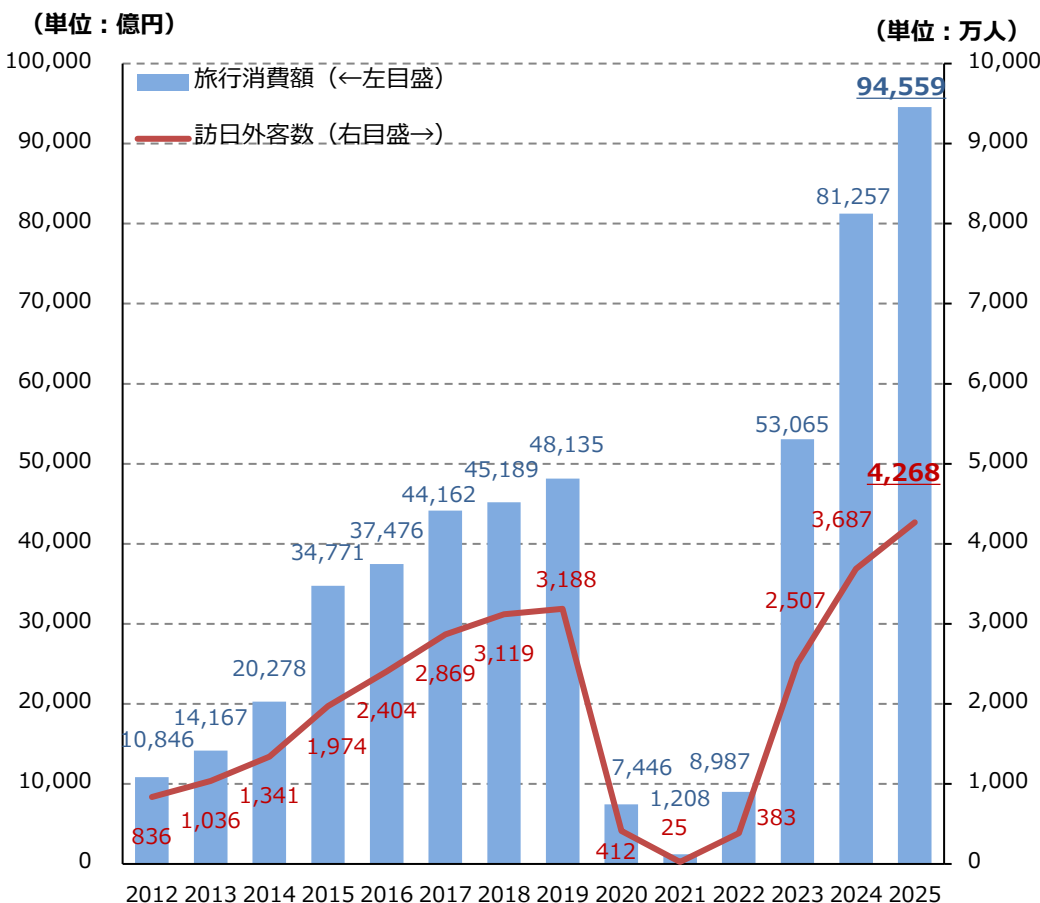
国籍	総消費額 (円)
英国	437,841円
スペイン	410,875円
豪州	410,388円
フランス	387,690円
ドイツ	380,651円
全体平均	212,682円

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※ 「全体平均」はアジア市場含む全対象市場の平均
※ データは「一般客（観光・レジャー目的）」の実績を使用

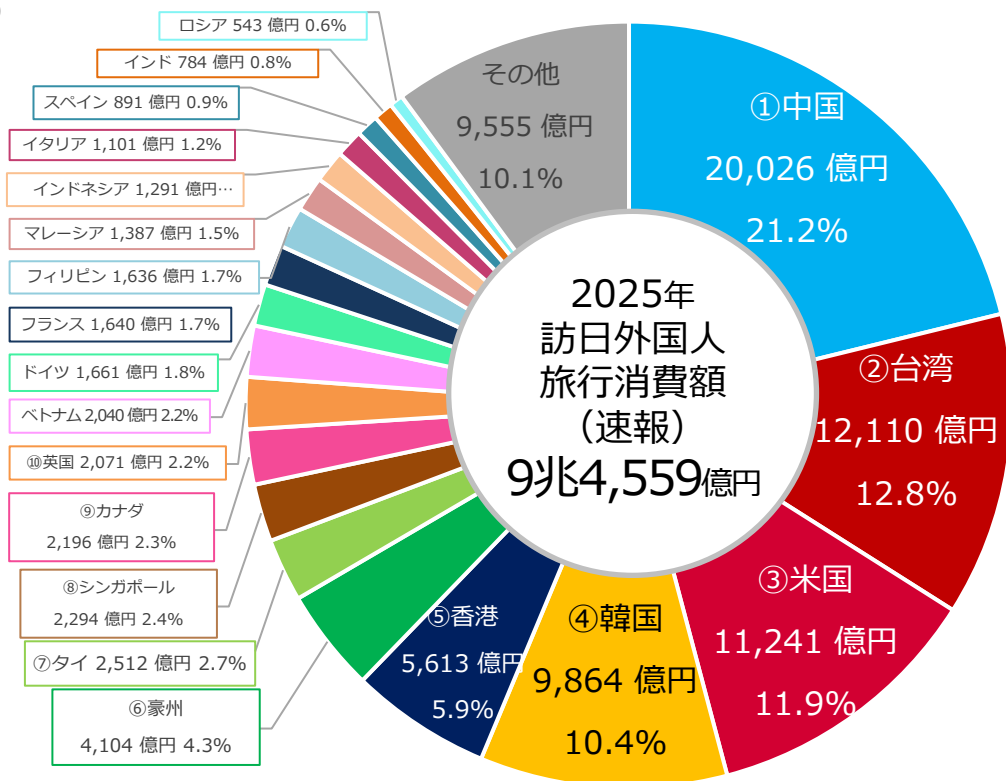
○2025年の訪日外国人旅行消費額（速報）は**9兆4,559億円**と推計される。
 訪日外客数の増加や平均泊数の増加の影響を追い風に、2024年（8兆1,257億円）と比較して**約16.4%増**となる**過去最高の消費額**となった。

旅行消費額と訪日外客数の推移



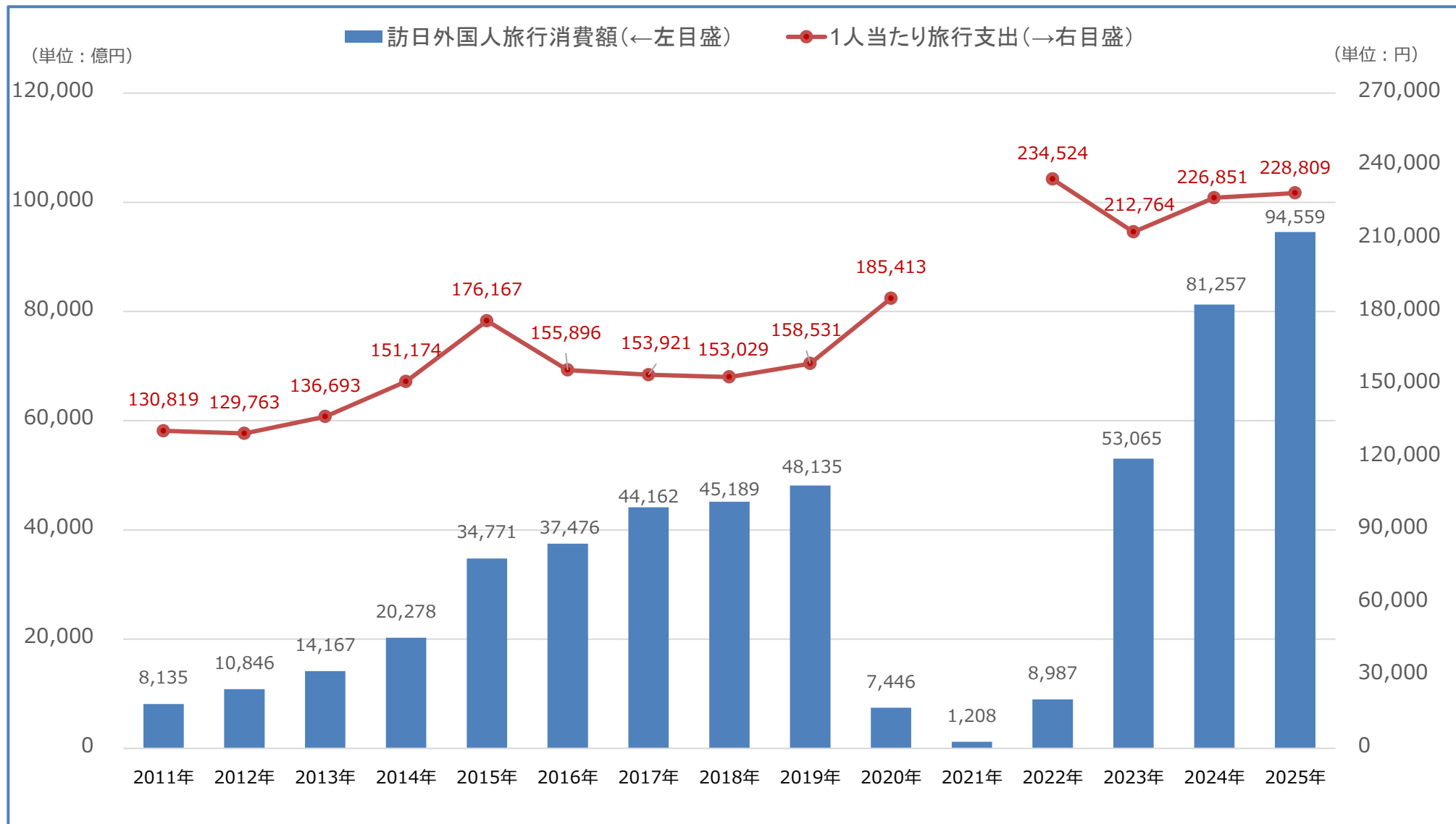
※ 2020年・2021年・2022年の数値は試算値（新型コロナウイルス感染症の影響）

国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



※ 数値はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは合致しない場合がある

訪日旅行における1人当たり旅行支出の推移



※ 「1人当たり旅行支出」について、観光庁で2021年の数値を算出していないため未記載

※ 2020年・2021年の数値は試算値（新型コロナウイルス感染症の影響）

※ 2019年以前・2023年・2024年の数値は確報値、2025年の数値は1月～9月の値は2次速報、10月～12月の値は1次速報

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

札幌（新千歳空港）

(単位：便/週)

中国	上海	中国東方航空 (MU)	週3便	週5便 (前年：週28便)
		春秋航空 (9C)	週2便	
韓国	ソウル	濟州航空 (7C)	週7便	週66便 (前年：週69便)
		ジンエアー (LJ)	週7便	
		アジアナ航空 (OZ)	週7便	
		ティーウェイ航空 (TW)	週7便	
		大韓航空 (KE)	週14便	
		イースター航空 (ZE)	週7便	
	釜山	エアブサン (BX)	週3便	
		イースター航空 (ZE)	週7便	
	清州	エアロK航空 (RF)	週7便	
台湾	台北	タイガーエア台湾 (IT)	週6便	週37便 (前年：週38便)
		チャイナエアライン (CI)	週7便	
		スターラックス航空 (JX)	週7便	
		エバー航空 (BR)	週14便	
	高雄	タイガーエア台湾 (IT)	週3便	
香港	香港航空 (HX)		週7便	週19便 (前年：週12便)
	キャセイパシフィック航空 (CX)		週5便	
	グレーターベイ航空 (HB)		週7便	

タイ	バンコク	タイ国際航空 (TG)	週7便	週17便 (前年：週7便)
		タイベトジェットエア(VZ)	週3便 (台北経由便)	
		タイ・ライオン航空 (SL)	週3便 (高雄経由便)	
チェンマイ	タイ・エアアジア (FD)		週4便 (台北経由便)	
	ポーションルガ	スクート (TR)		週4便 (台北経由便)
フィリピン	マニラ	セブパシフィック航空 (5J)	週3便	週3便 (前年：週3便)
				計：週151便 (前年：週161便)

函館

台湾	台北	タイガーエア台湾 (IT)	週5便	週8便 (前年：週8便)
		スターラックス航空 (JX)	週3便	
韓国	ソウル	濟州航空 (7C)	週4便	週4便
				計：週12便 (前年：週8便)

帯広

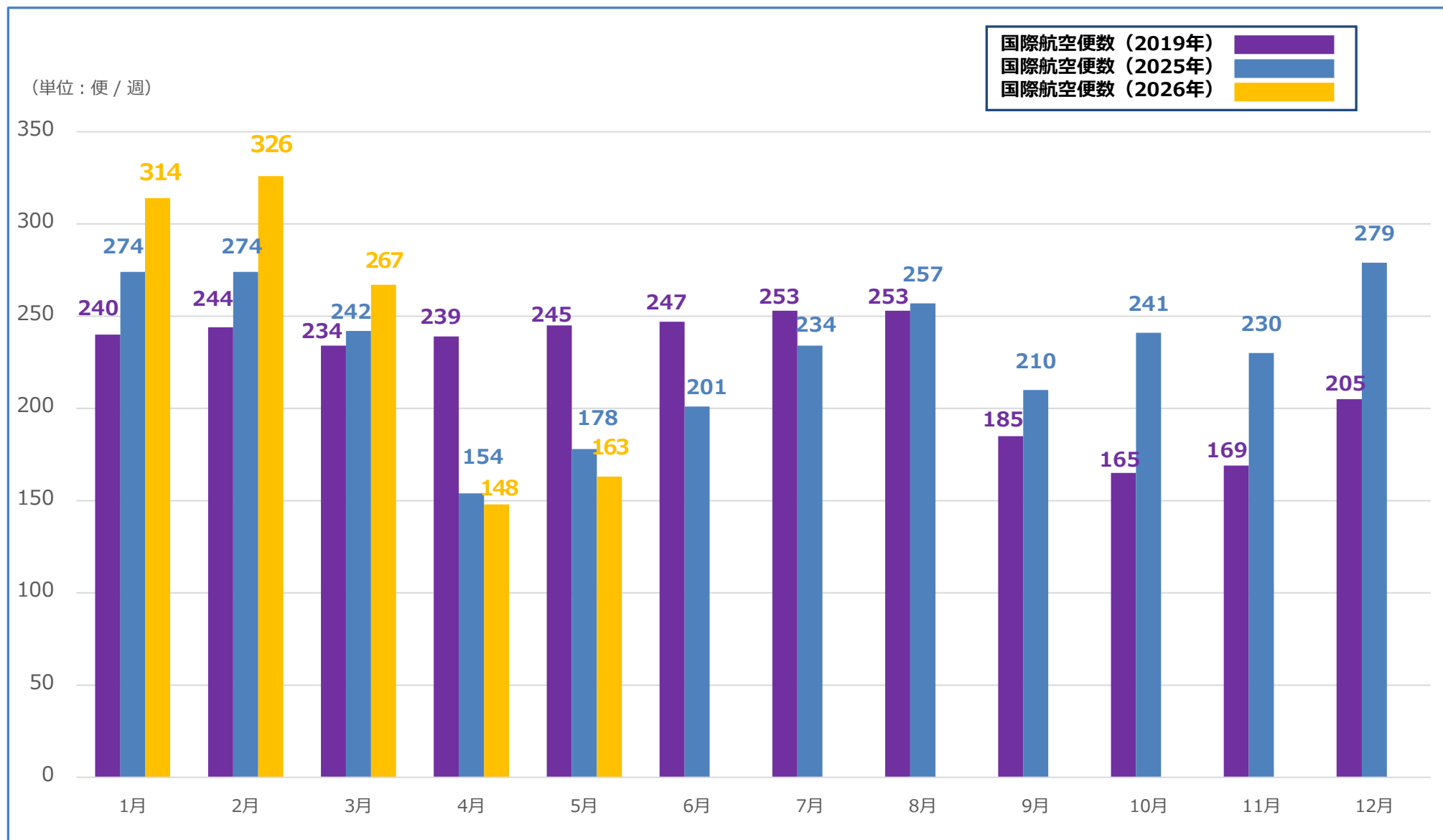
韓国	清州	エアロK航空 (RF)	週0便	週0便 (前年：週3便)
				計：週0便 (前年：週3便)

旭川

台湾	台北	タイガーエア台湾 (IT)	週0便	週0便 (前年：週2便)
韓国	ソウル	アジアナ航空 (OZ)	週0便	週0便 (前年：週4便)
				計：週0便 (前年：週6便)

※前年同月から便数が増便した市場は黄色、減便した市場は赤色で記載。(前年同月に運航していない場合、前年便数は未記入)

コロナ禍後の国際航空便数の推移（2019年・2025年・2026年各月比較）



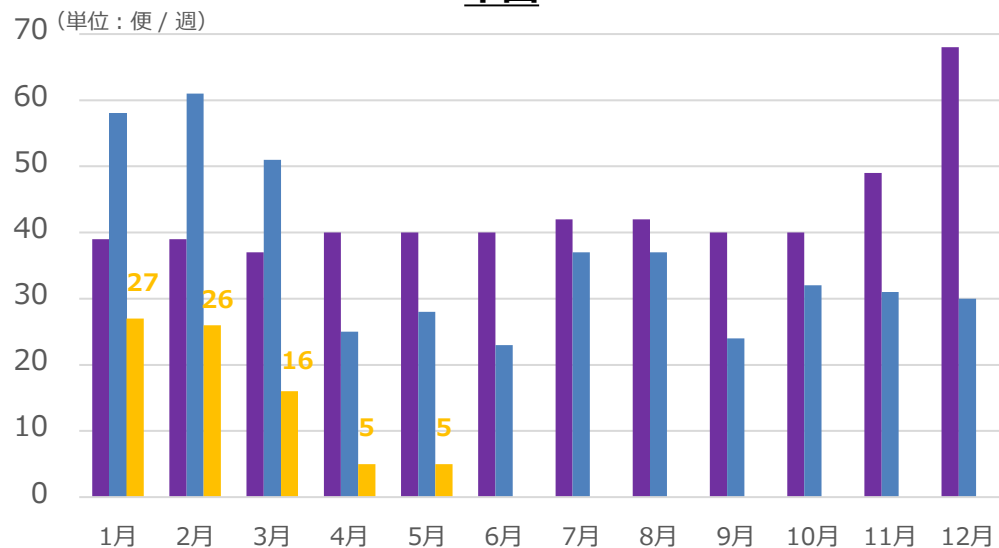
※国際定期便運航便数は第1週を基準として計上しています。

北海道における東アジア市場の国際定期便数の推移

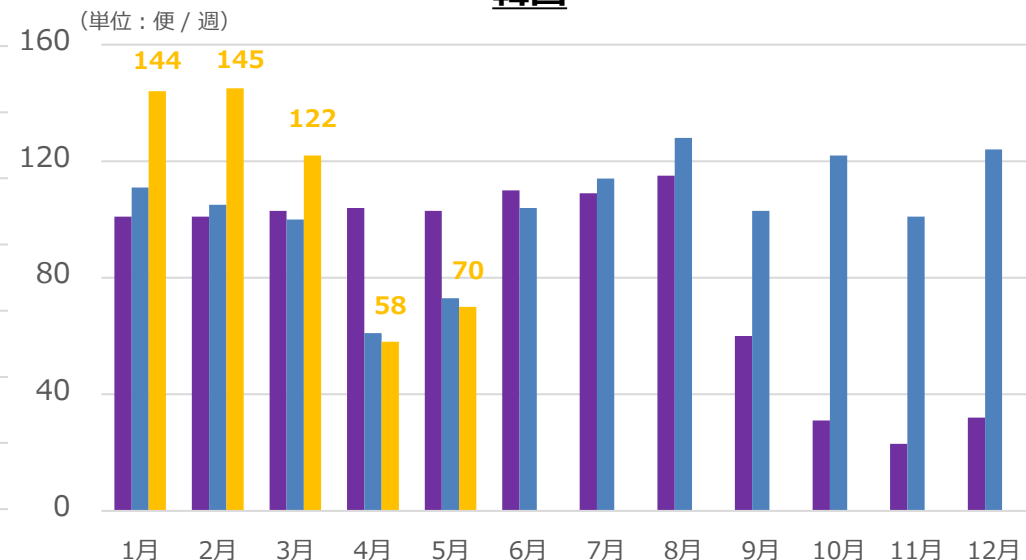
※国際定期便運航便数は第1週を基準として計上しています

国際航空便数 (2019年) (2025年) (2026年)

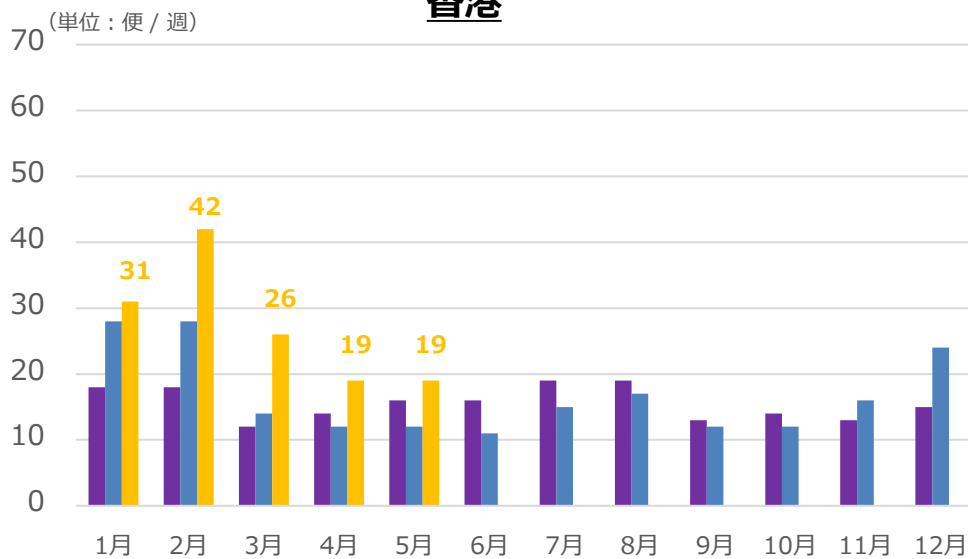
中国



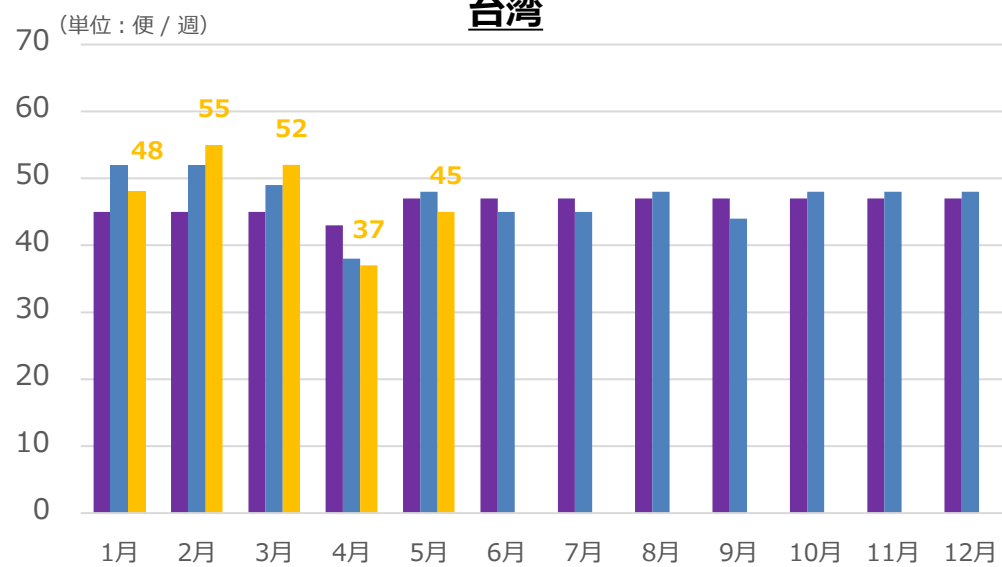
韓国



香港



台湾



北海道観光の構造的課題（1） 一地域偏在（日本人）

2024年度 日本人延べ宿泊者数（北海道全体） 3152.2万

2023年度 日本人延べ宿泊者数（北海道全体） 3024.0万

（単位：人泊）

石狩・空知地方（札幌市除く）		
24年度	83.8万	2.7%
23年度	80.6万	2.7%

札幌市		
24年度	1,337.7万	42.4%
23年度	1,253.6万	41.5%

後志地方		
24年度	215.2万	6.8%
23年度	226.6万	7.5%

渡島・檜山地方		
24年度	457.2万	14.5%
23年度	396.8万	13.1%

留萌・宗谷地方		
24年度	75.5万	2.4%
23年度	76.9万	2.5%

上川地方		
24年度	261.8万	8.3%
23年度	265.6万	8.8%

オホーツク地方		
24年度	153.7万	4.9%
23年度	152.1万	5.0%

釧路・根室地方		
24年度	161.2万	5.1%
23年度	159.4万	5.3%

胆振・日高地方		
24年度	220.2万	7.0%
23年度	235.5万	7.8%

十勝地方		
24年度	185.9万	5.9%
23年度	176.9万	5.8%



※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

※ 各%はそれぞれの年の日本人延べ宿泊者数全体に占める割合。

出典：北海道経済部「北海道観光入込客数調査」

- 旅行先は道央圏に集中。
- 地域経済の活性化のため、道内各地へ旅行先の分散が必要。

北海道観光の構造的課題（1） 一地域偏在（外国人）

（単位：人泊）

2024年度 外国人延べ宿泊者数（北海道全体） 892.5万
2023年度 外国人延べ宿泊者数（北海道全体） 673.3万

石狩・空知地方（札幌市除く）

24年度	24.3万	2.7%
23年度	15.5万	2.3%

札幌市

24年度	383.1万	42.9%
23年度	274.8万	40.8%

後志地方

24年度	135.0万	15.1%
23年度	113.4万	16.8%

渡島・檜山地方

24年度	76.7万	8.6%
23年度	54.2万	8.0%

胆振・日高地方

24年度	97.2万	10.9%
23年度	78.2万	11.6%

十勝地方

24年度	18.5万	2.1%
23年度	14.5万	2.2%

留萌・宗谷地方

24年度	2.7万	0.3%
23年度	1.9万	0.3%

上川地方

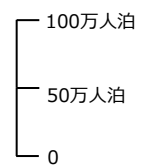
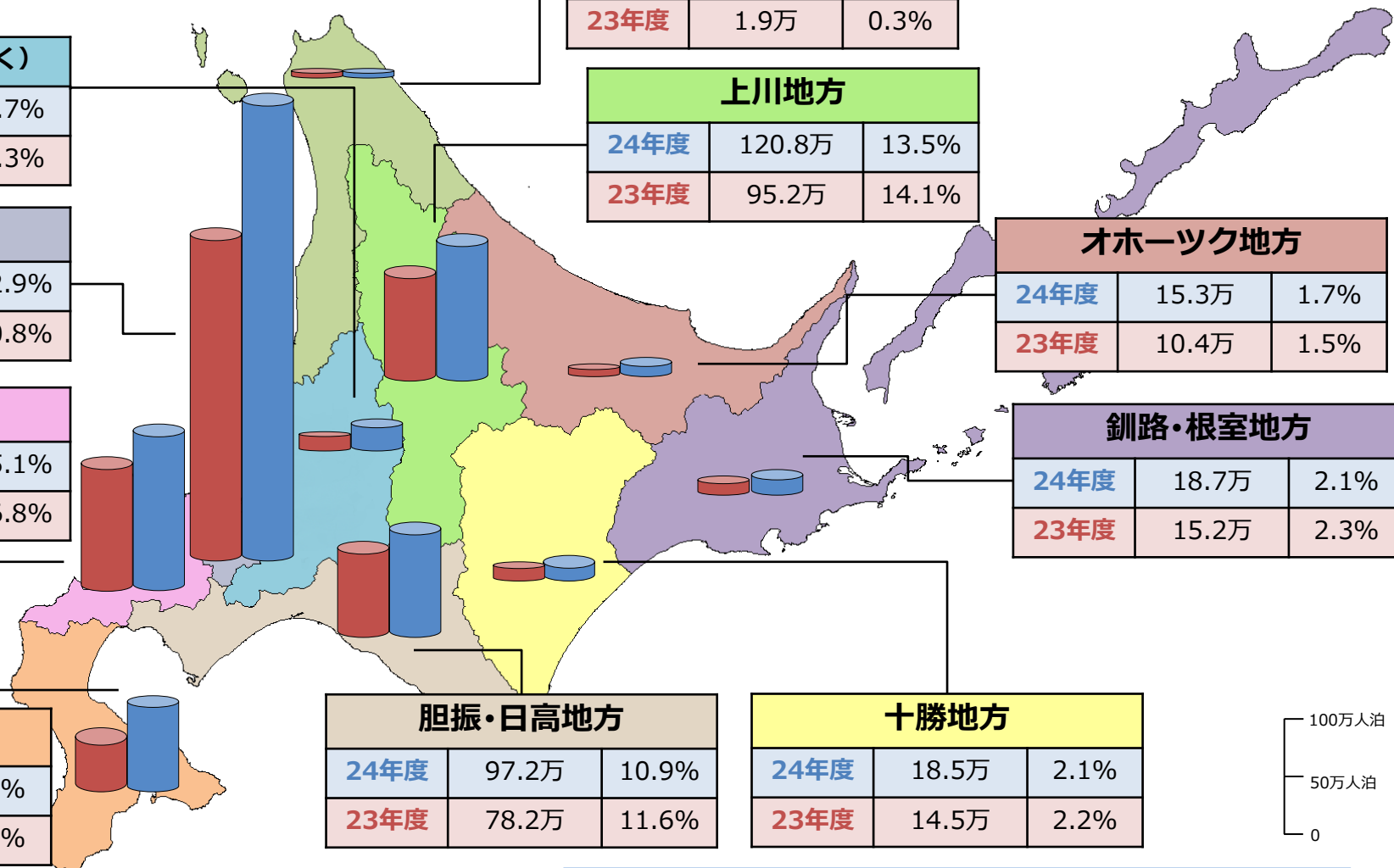
24年度	120.8万	13.5%
23年度	95.2万	14.1%

オホーツク地方

24年度	15.3万	1.7%
23年度	10.4万	1.5%

釧路・根室地方

24年度	18.7万	2.1%
23年度	15.2万	2.3%



※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。
 ※ 各%はそれぞれの年の外国人延べ宿泊者数全体に占める割合。
 出典：北海道経済部「北海道観光入込客数調査」

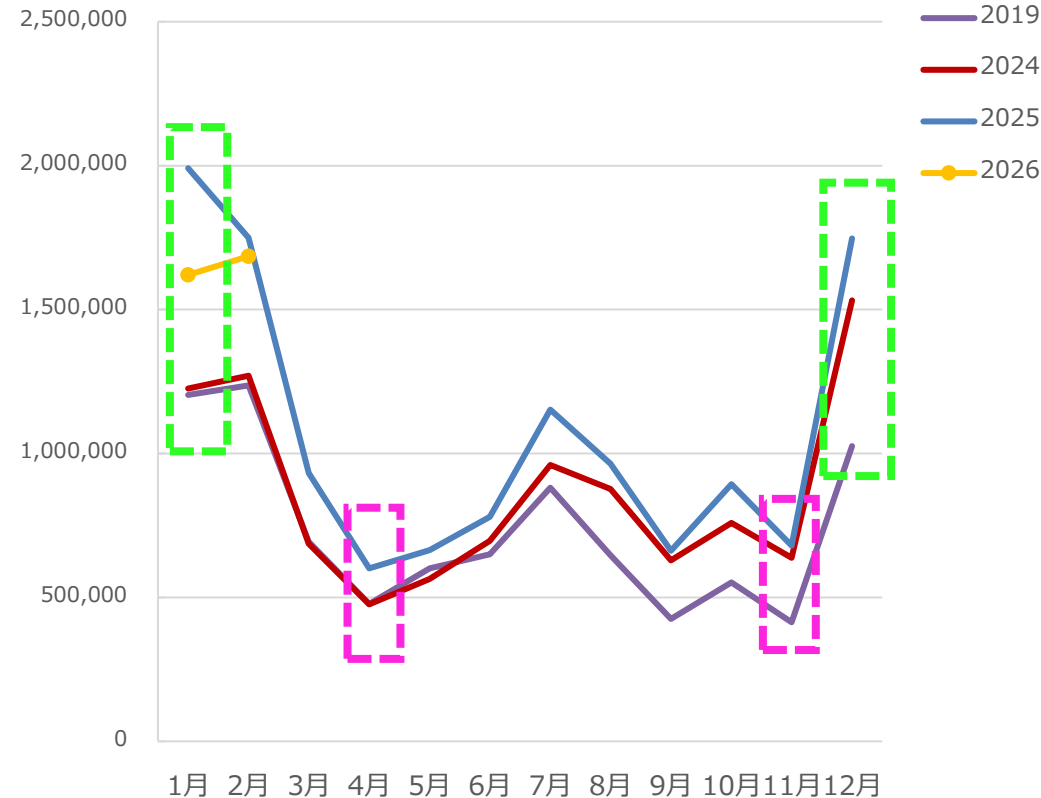
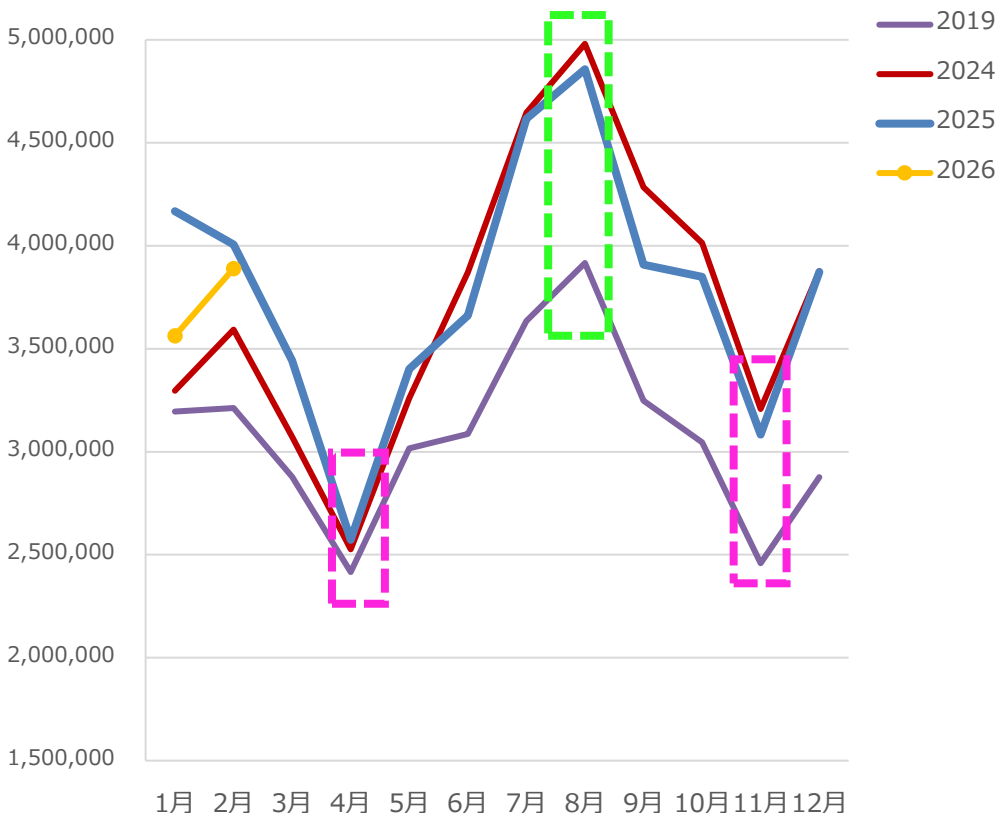
- 旅行先は道央圏に集中。
- 地域経済の活性化のため、道内各地へ旅行先の分散が必要。

道内月別延べ宿泊者数 (外国人含む)

道内月別延べ宿泊者数 (外国人のみ)

(単位：人泊)

(単位：人泊)



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

・ 通年でのサービス水準の向上を図るため、入込が減少する4月と11月の観光コンテンツを拡充させて、それぞれの月で観光入込を底上することが必要である。